



2025 年 10 月 14 日

各位

会社名 株式会社三機サービス
代表者名 代表取締役社長 北越 達男
(コード番号 6044、東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役
経営管理本部長 川崎 理
(TEL079-289-4411)

年々暑くなる夏の対策として業務用空調設備のメンテナンスや入替の重要性が高まる

真夏日は 18%増加、猛暑日は 77%増加

～身近な施設（コンビニやスーパー、飲食店など）の空調が適切と考えているのは 63%～

業務用空調設備のメンテナンス、入替工事などを全国展開する株式会社三機サービス（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：北越達男、以下「当社」）は、身近な施設の空調に関するアンケートを実施しました。

気象庁によると、全国 13 地点の観測で 2010 年代平均と比べ 2020 年代平均は、年間の日数で真夏日（日最高気温 30℃以上）が 18%※¹、猛暑日（日最高気温 35℃以上）が 77%※¹ 増加し、2020 年代平均で、年間真夏日は 53 日、猛暑日は 6 日となっています。また、ヒートアイランド現象の影響で都市部では全国平均よりも暑い日が多い傾向にあることがわかっています。さらに、気象庁の予測では、今後も地球温暖化などの影響により気温の上昇が見込まれています※²。

このように、年々暑い日が増える中で、身近な施設（コンビニやスーパー、飲食店など）の空調は、暑さ対策として重要性を増しています。空調環境を適切にすることで、施設の利用活性につながる可能性があると考え、今回当社では、身近な施設の空調に関して、利用者の方にアンケートを実施しました。

※1 全国（13 地点平均）の猛暑日の年間日数（気象庁）、全国（13 地点平均）の真夏日の年間日数（気象庁）

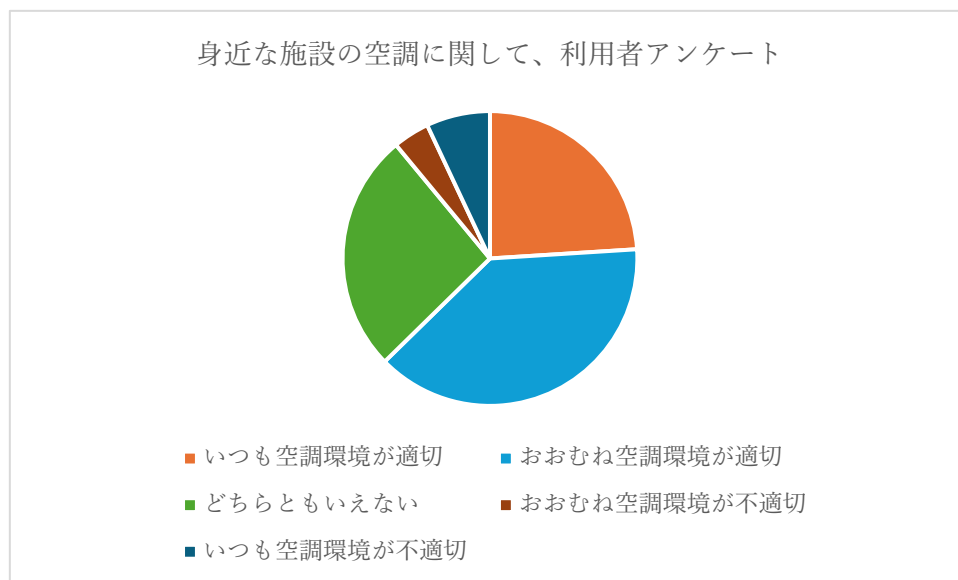
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html

※2 日本の気候変動 ―大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書―

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

アンケートでは、空調環境が「適切」と答えた方は 63%、施設別では、スーパーが 67%、コンビニが 65%、飲食店やその他施設では低い傾向にありました。また空調環境が「適切」とした理由としては、温度設定が適切と感じたという回答が多く、「不適切」とした理由としては、寒く感じた、暑く感じた、匂いが臭く感じたなどの回答が多くみられました。当社としましては、空調環境を適切にするには、空調設備のメンテナンスや老朽設備の入替などが必要と考えています。また、メンテナンスや入替により電力消費量の削減などの効果も期待でき、地球温暖化防止や店舗運営効率の向上に資するものと考えています。

当社は、『空間インフラのもっと快適・ずっと安心を提供すること』をビジョンに掲げ、業務用空調設備のメンテナンスを中心に、設計・施工・保守管理も手掛け、一気通貫なサービスをお客様に提供しております。近年、真夏日や猛暑日、酷暑日が増加する中、当社としては、アンケート結果を踏まえ、業務用空調機器のメンテナンスや入替需要増に対応する体制を構築し業務拡大を図っていきたいと考えています。



●調査概要

調査方法： インターネット回答
有効回答数： 300 人（男性 136 人／女性 164 人）
調査実施日： 2025 年 10 月 3 日

詳細につきまして、取材をご希望のメディア様は下記までご連絡ください。

株式会社三機サービス 経営企画部 (E-mail : s.keiki@sanki-sv.com)

以上